

事業報告書（令和7年度）

1. 法人の概要

- 法人の名称：準学校法人 実学舎
- 設置学校の名称：埼玉コンピュータ&医療事務専門学校
- 設置学校の所在地：埼玉県さいたま市大宮区上小町1450番3
- 認可年月日：昭和59年3月31日
- 役員及び監事（令和8年5月1日現在）
 - （理事長） 坂本 健司
 - （校長） 高野 庸夫
 - （理事） 永嶋 龍次、山崎 友義、田沼 耕三、市塚 博
 - （監事） 友光 道教、加納 正敏

なお、当法人は、役員賠償責任保険契約を締結している。

（概要）役員賠償責任保険

一般社団法人 職業教育・キャリア教育財団（引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社）
・・・法人に対する補償及び役員個人に対する補償 保険期間中の総支払限度額 5億円

- 設置学校の入学定員（各年）及び在籍学生数の状況（令和8年5月1日現在）

情報テクノロジー科：定員70名：1年生58（34）名・2年生74（47）名

クリエイター科：定員10名：1年生14名・2年生14（1）名

デザイン科：定員20名：1年生17名・2年生11名

ビジネス科：定員10名：1年生87（75）名・2年生18（6）名

医療事務科：定員40名：1年生6名・2年生8名

在籍学生数合計：307（163）名

（括弧内は留学生で内数）

- 設置学校の教職員数の状況（令和8年5月1日現在）

校長1名・教員13名・講師20名・職員6名

2. 事業の概要

＜学生指導＞ 担任・教科担当が連携し、月1回の教職員会議で情報共有を徹底。要対応学生には個別指導や保護者面談、家庭訪問を行い、一人ひとりに寄り添った指導を実践した。令和7年度は新入生に対し、入学式直後に3日間のオリエンテーションを実施。教育方針や学生生活を丁寧に説明し、専門学校生としての意識付けを図った上で授業を開始した。また、留学生には在留資格の更新手続き等を速やかに行うよう適切な指導を徹底した。

＜就職指導＞ 求人状況546社（1638人）

「就活キックオフ」を開催し、社会人の心構えや現状、求める人材像等の講話を通じ、早期から主体的に動けるよう意識付けを図った。留学生には国内就職の心構えや具体的対策を指導した。令和7年度は業界理解を深めるため学内企業説明会を積極的に開催。企業との接点を大幅に拡大し、マッチング機会の創出に努めた。

＜各科指導＞ 全学科において学生一人ひとりの習得度合を把握した上での授業実践に努めた。令和7年度は、単元テストの実施や課題提出による随時評価を取り入れ、学生に対してこまめなフィードバックを行った。さらに、留学生に対しては日本語能力の向上に向けた指導を強化するなど、これまで以上に学生に寄り添ったきめ細かい指導を展開することができた。